

第 11 回自治推進委員会のまとめ（案）
平成 24 年 1 月 19 日開催

1. 報告書の項目と内容（案）について

< 情報共有 >

- ・ 発信する情報の優先順位をつけるなど行政の整理の仕方を工夫する【松崎委員】
- ・ NPO から情報発信しているものが、うまく行政とリンクできるような仕組みがほしい【松崎委員】
- ・ NPO と行政の連携に価値のある情報の発信方法を工夫する【上野委員長】
- ・ 行政からの情報提供を市民がどう受け止めているかを把握することが必要【岩下委員】
- ・ 「市民に興味を持たせる仕組み等」とあるが、この興味を持たせるという表現はトップダウンのようなイメージがある【中島久美子委員】
- ・ 情報量が多すぎるという面だけでなく、市政運営の決定過程など市民が必要とする情報が出てこないことが問題【西村委員】
- ・ 市全体の情報共有について取り上げるべき【西村委員】

< 参画 >

- ・ 単年度ではなく、2, 3 年を一つのスパンとして事業を考えていく中に、市民が計画の段階から参画できるようにしていくとよい【松崎委員・上野委員長】
- ・ 市民が参画しやすいように、政令市移行後は、（区長や局長が）小規模な地域でまちづくりトークをする機会を設けてほしい【岩下委員】
- ・ 参加と参画が混同しているので明確にすべき【西村委員】

< 協働 >

- ・ 行政内の協働、水平的協働の必要性を分かりやすく【中島久美子委員・荒木副委員長】
- ・ 同じことを考えている人をつなげるようなことを入れてほしい【長塩委員】
- ・ 市民を育てるという表現は盛り込めないかもしれないが、市民が自らまちづくりに取り組む感覚に転換してほしい【中島久美子委員】
- ・ 人をつなげるネットワークという言葉は次世代へということも含めて良い表現である【平橋委員】

< 総括 >

- ・ 二項対立の関係だけで議論をするのはどうかと思う【上野委員長・荒木副委員長】
- ・ コンプライアンスに努めると少し入れてもらえるといいのではない【平橋委員】
- ・ 政令市で組織が複雑化し、どこに聞けばいいのか、かえって分かりづらくな

いようにしてほしい【長塩委員】

<その他>

- ・ 報告書は市民に分かりやすく簡潔でなくてはならない【西村委員】
- ・ 何が問題で、その問題を解決したらどうよくなっていくかを明確にすべき【西村委員】

2. 今後の進め方について 【上野委員長】

- ・ 各委員の提案等を加味しながら、次回までに正副委員長で答申書（案）をまとめる。
- ・ 次回は答申書（案）に意見をいただき、その修正と確認は正副委員長が行う予定。
- ・ 3月20日以降で市長答申の日程を調整し、その前に答申書を各委員あて事前郵送する。
- ・ 答申書に付随する各委員の意見等は、市長との懇談の際に直接市長にお話をしていただこうと考えている。